

(平成30年度) 「倫理応用」 シラバス

県立志川高等学校

科目名	「倫理応用」	教科名	公民	単位数	2	対象学年	3年 (1~4組)文系選択Ⅱ群
目 標	<p>①人間としての生き方探求と人間尊重の精神に基づいて、青年期における自己形成ものの見方考え方について理解と思索を深めさせる。</p> <p>②人格の形成に務める実践的な意欲を高め、生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある、公民のとしての必要な能力と態度を育て、併せて上位学校への進学のための知識の養成と対策を目的とする。</p>						
内 容	<p>①主たる内容は別紙の年間指導計画に掲載する。</p> <p>②倫理の基本的な知識と考え方を確立して、進学のための試験や小論文などに対応できる力を身につけられる内容とする。</p>						
評 価	<p>①定期テスト、その他のテスト</p> <p>②授業中の取り組み態度</p> <p>③課題レポートや宿題などの提出状況</p> <p>④その他、校則を遵守していること</p> <p>上記を総合的に判断し評価する。</p>						
配慮事項	<p>使用する副読本：ウィニングコンパス倫理・政経/現社の整理と演習 とうほう テオリア最新倫理資料集 第一学習社</p>						
学期	月	指 導 内 容				配 当 時 数	備 考
一学期	4 5	「現代の諸問題と倫理」：生命の問題と倫理課題、環境の問題と倫理課題、家族・地域社会と倫理課題、情報社会と倫理課題、宗教・文化と倫理課題などの基本的事項の確認				6	
	6 7 8	「現代に生きる人間の倫理」：人間の尊厳、近代科学革命と自然観、自由で平等な社会の実現、人間性の回復と主体性の確立、現代の思想と人間像、生命への畏敬と社会参加などの基本的事項の確認				16	
二学期	9	「青年期の課題と自己形成」：よく生きることを求めて、青年期の課題 などの基本的事項の確認				8	
	10 11 12	<p>「人間としての自覚」：ギリシャの思想、キリスト教、イスラーム、仏教などの基本的事項の確認</p> <p>「国際社会に生きる日本人としての自覚」：日本の風土と伝統、外来思想の受容、町人意識の目覚めと庶民思想、西洋思想との出会いなどの基本的事項の確認</p>				26	
三学期	1						

